

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学部
科目名称 [英語名称]	社会学 [Sociology]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	120510	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	林田 康子				学位授与の方針 との関連	DP1(1)(2), DP2(1)(2)	
授業概要	この授業は、われわれの行動や生活の仕方をおして、現代社会がどのような社会であるのかを学び、今後の社会のあり方を考えていくことを目指した授業である。授業では、人間関係やジェンダーなどの身近な問題から、地域社会、国家やグローバル化まで、幅広いテーマを取り上げる。さまざまな角度から、われわれを取り巻く環境としての社会と、社会という環境のなかで行動するわれわれという、社会学の基本的な考え方を理解したうえで、社会問題の解決やこれからの社会の方向性を探る。						
関連する科目							
授業の進め方と方法	毎回の授業にて、アクティブラーニング型の授業を行う。基本的には講義の形態をとるが、授業中は随時学生に質問をして対話型の授業を行ったり、データの分析をしてもらう。また、各テーマ(各章)の終了時に小テストを行い、問題提起されていることを再考してもらう。						
授業計画	第1回 ガイダンスおよび社会学の方法 第2回 社会学の方法と社会調査 第3回 人間関係1:親密な関係性の現状 第4回 人間関係2:親密な関係性の本性と課題 現代社会における親密な関係について学ぶ。 第5回 教育と職業1:戦前・戦後の教育改革と実態 第6回 教育と職業2:現代の教育改革と実態 これまでの教育改革の目的、背景や問題点について学ぶ。 第7回 地域社会1:地域社会の変化 第8回 地域社会2:地域社会の分析視点 現代社会における地域社会の変化と、分析の視点について学ぶ。 第9回 格差と不平等1:格差・不平等社会の状況 第10回 格差と不平等2:格差・不平等の分析視点 豊かになった現代社会における格差・不平等について学ぶ。 第11回 家族とジェンダー1:ジェンダー視点の有効性 第12回 家族とジェンダー2:近代家族と社会制度 ジェンダー視点から近現代社会をとらえ直し、今後のゆくえを考える。 第13回 福祉国家1:福祉国家の成立と危機 第14回 福祉国家2:21世紀の福祉レジーム 福祉国家の行き詰まりについて学び、解決の方向を考える。 第15回 グローバル化と文明の共生 グローバル化の功罪について学び、解決の方向を考える。						
授業の到達目標	1. 現代社会で発生している社会現象や社会問題をおして、われわれがどのような社会生活を送っているのかを理解できるようになる。【知識・理解】 2. われわれを取り巻く現代社会の状況を具体的に理解できるようになる。【知識・理解】 3. 社会的状況が、われわれの行動や社会生活に影響を及ぼしていることを理解できるようになる。【知識・理解】 4. 社会学的な分析視点や理論を理解できるようになる。【知識・理解】 5. 現代社会を分析できるようになる。【汎用的技能】						
授業時間外の学修	【予習】授業中に次回の授業範囲を示すので、教科書を読んで概要をつかみ、わからない点を整理しておく(約1時間)。 【復習】各章の終了時に小テストを実施するので、毎回授業内容を振り返り、要点を整理しておく(約1時間)。 【授業期間中】下記参考書や教科書に記載された引用・参考文献を読み、授業内容の予習や復習に役立てるとともに、社会学について理解を深めておく(約2時間)。						
課題に対するフィードバック	小テストは提出後の授業で、学期末試験は提出後、解説を行う。			評価方法	学期末試験80点、小テスト20点		
テキスト	友枝敏夫・山田真茂留編, 2013, 『Do! ソシオロジー 改訂版』有斐閣						
参考書	アンソニー・ギデンズ, 2009, 『社会学』而立書房。 長谷川公一ら, 2019, 『社会学』有斐閣。 教科書で紹介、引用されている諸文献。						
備考							